

改訂日 2017-12-15

## 1. 化学物質等および会社情報

### 物質／調剤の特定

製品名 EASY Dilution (for Real Time PCR)

製品コード SD5007

### 用途

特定用途 研究用にものみ使用できます。診断用には使用できません。

### 会社／企業の特定

#### 供給者の詳細

日本：  
タカラバイオ株式会社  
〒525-0058  
滋賀県草津市野路東七丁目4番38号  
電話：077-565-6920  
Web：www.takara-bio.com

米国：  
Takara Bio USA, Inc.  
1290 Terra Bella Avenue Mountain  
View, CA 94043 USA  
電話：800.662.2566/888.251.6618  
Web：www.clontech.com

中国：  
Takara Biotechnology (Dalian) Co., Ltd.  
19-No.2 Dongbei Street  
Dalian Economic and Technical Development Zone  
Dalian, 116600  
電話：+86.411.8761.9944  
Web：www.takara.com.cn

韓国：  
Takara Korea Biomedical Inc.  
601, New T Castle, 429-1, Gasan-dong, Geumcheon-gu  
Seoul, 153-803  
Korea  
電話：+82.(0)2.2081.2525  
Web：www.takara.co.kr

### 緊急電話番号

In case of emergency, call PERS (Professional Emergency Resource Services) 1-800-633-8253 (US) or 801-629-0667 (international).

# 安全データシート

## 2. 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

注意書きも含むGHSラベル要素

記号

分類されていない他の危険有害性

情報なし

## 3. 組成、成分情報

危険有害成分

この製品は、所定の濃度で健康に危険有害性と考えられる成分は一切含有していない

## 4. 応急措置

必要な応急手当の記述

一般的アドバイス	事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医者診察を受ける（可能ならばラベルを見せる）。
眼との接触	上瞼と下瞼を押さえて開け、最低15分大量の水で徹底的に洗う。医師診察を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに最低15分間は多量の水で洗い流す。
吸入	新鮮な空気のある場所に移動する。
摂取	意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけない。症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。予想された曝露ルートではない。

最も重要な急性と発症の遅い症状／影響

摂取	飲み込むと、胃腸内刺激、吐き気、嘔吐、下痢が起こることがある。
----	---------------------------------

場合によっては、緊急の治療および特別な処置の指示が必要である

医師に対する特別な注意事項	症状に応じた治療を行う。
---------------	--------------

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤

適切な消火剤	現地の状況と周囲環境に応じて適切な消火手段を使う。
--------	---------------------------

使ってはならない消火剤	情報によると何も知られていない。
-------------	------------------

化学物質による特定の危険有害性

# 安全データシート

物質そのもの、調剤に含有される成分、燃焼またはそれにより発生するガス等による特定の危険有害性 情報によると何も知られていない。

## 消防士のための特別保護措置

消火を行う者の保護

自給式呼吸装置と保護服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

人体に対する予防措置

保護措置については、セクション8を参照。

### 環境に対する予防措置

環境に対する予防措置

製品を排水施設に流してはならない。表流水または下水システムに排水しない。

### 封じ込めおよび浄化方法と機材

除去方法

せき止める。不活性な吸収材で吸収させる。適切な密閉容器に入れ、廃棄する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

### 安全な取扱いのための予防措置

安全取り扱い注意事項

皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。正しい産業衛生と安全規定に従って取扱う。

### 配合禁忌等、安全な保管条件

技術対策/保管条件

正確なラベルのついた容器に入れておく。

## 8. 暴露防止および保護措置

### 管理パラメーター

曝露限界

この製品は、供給された状態では各地域の規制当局により定められた生物学的限界値を持つつかない危険有害物質も含んでいない。

### 適切な工学的管理方法

設備対策

特に、閉所では十分な換気の確保が必要。

### 個人保護具（PPE）などの個人の保護手段

保護具

一般情報

これらの勧告は供給された状態の製品に適用される。

呼吸器の保護

通常使用の状態では何もない。

目の保護具

サイドシールド付き安全眼鏡。

皮膚及び身体への保護具

適切な保護具を着用する。ブーツ。

手の保護具

ラテックス製手袋。

適切な衛生対策

使用中は、飲食や喫煙をしないでください。正しい産業衛生と安全規定に従って取扱う。

# 安全データシート

## 9. 物理的および化学的性質

外観	透明、無色の溶液
臭い	無臭
物質の状態	液体
pH	情報なし
水溶性	適用なし
沸点/沸点範囲	情報なし
融点 (° C) 値	情報なし
引火点	情報なし

## 10. 安定性および反応性

### 反応性

一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応性の可能性

通常の処理下ではなし。

### 避けるべき条件

情報によると何も知られていない。

### 混触危険物質

情報によると何も知られていない。

### 危険有害性のある分解生成物

通常使用の状態では何もない。

# 安全データシート

## 11. 有害性情報

### 急性毒性 - 製品情報

摂取	情報なし
急性毒性 経口	混合物の 1 % は、毒性未知の成分からなる
経皮	情報なし
吸入	情報なし
ガス	情報なし
ミスト	情報なし
(蒸気)	情報なし

### 急性毒性 - 成分情報

悪化した病状 情報なし

### 亜慢性毒性

### 慢性毒性

感作 情報なし  
神経障害 情報なし  
目標臓器効果 情報なし

### CMR 影響

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

### 急性水生毒性 製品情報

### 計算方法

EC50 情報なし

### 急性水生毒性 成分情報

### 慢性水生毒性 製品情報

### 慢性水生毒性 成分情報

### 陸生生物への影響

### 移動性

# 安全データシート

---

## 残留性と分解性

## 生物蓄積性

## 製品情報

n-オクタノール／水分配係数      情報なし

## 成分情報

## 他の有害影響

### 13. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物      地域および国の規制を遵守して、危険有害廃棄物として廃棄する。  
汚染した包装      現地の規定に従い、処分する。

### 14. 輸送上の注意

ADR/RID      規制されていない

IMDG/IMO      規制されていない

ICAO/IATA      規制されていない

ADN      規制されていない

DOT      規制されていない

TDG      規制されていない

MEX      規制されていない

### 15. 適用法令

各国法規制一覧      研究上の使用のみ

## 日本の適用法令

### 16. その他の情報

# 安全データシート

---

## 免責事項

このSDSに提示されている情報は、その発行日における我々の知識、情報および信念の限り正しい情報です。ここで提供された情報は、安全な取り扱い、使用、加工、保管、輸送、処理および廃棄の手引きとすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様を示すものではありません。本文中に明記されている場合を除き、この情報は指定された特定の物質のみに関するものであり、これらの物質を何らかの他の物質と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。

## 購入者への注意事項：

Takara製品は研究用として販売しております。薬品、生体内診断用、治療、または人体への使用を含む、しかしこれらに限定されない、他のいかなる目的にも使用しないでください。事前に書面によるTakaraBioInc.の承認を得ないTakara製品の第三者への譲渡、再販、再販のための改変、商用製品の製造に使用すること、または第三者へのサービスを提供することは禁止されています。

この製品を使用することも、<http://www.takara-bio.com>の製品ウェブ・ページに記載されているライセンス要件を遵守することが前提となります。これらの記載事項により課されている、あらゆる制約を検討、理解して遵守することは、使用者各位の責任です。

他の全ての商標は、それぞれの所有者に帰属します。特定の商標は、全ての管轄区で登録されていないこともあります。

以上